

1 教育課程

《教育研究方針》

1 ディプロマポリシー（学位授与方針）

博士課程では、「総合コース」及び「がんプロフェッショナル養成専門コース」を設け、両コースともに、4年以上在学（優れた研究業績を上げた者は、3年以上在学）し、必要な単位30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格することを学位授与の要件とする。

課程修了にあたっては、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、高度先進医療を推進する医師又は先端医学研究を展開しうる医学研究者として、以下の見識と能力を有していることを目標とする。

- 1 医学・医療・生命科学研究に必要な高邁な倫理観を修得している。
- 2 自立した研究者、医療人として、最先端の医学・医療・生命科学研究を自ら推進し、また後進を育成し指導できる知識と技能を身につけている。
- 3 医学・医療・生命科学の研究成果を応用し実践して地域社会と世界に貢献することができる。

2 カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）

【総合コース】

総合コースでは、専門領域に係る分野から主科目及び副科目並びに共通領域の授業を履修するとともに指導教授による研究指導を受けることにより、専門分野における知識と能力を有する専門的な医師・医学研究者の育成を目指す。

こうした高度な専門教育を通じて、高邁な倫理観を身につけ専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識の習得度により評価する。

【がんプロフェッショナル養成専門コース】

がんプロフェッショナル養成専門コースでは、基礎科目及び専門科目を履修するとともに、指導教授による研究指導を受けることにより、がん医療の担い手となる質の高い専門医や集学的治療におけるチーム医療者の養成を目指す。

こうしたがんに係る専門教育を通じて、実践的がん医療に係る高度な知識と能力の習得度により評価する。

3 成績評価について

平成29年度入学生より、授業科目の習熟度、レポート、プレゼンテーション内容、試験、出席状況等に基づき、優、良、可、不可の4段階で評価する。なお、複数年で履修する科目については、科目の修得が修了する年度に評価する。（平成28年度以前の入学生については、合格、不合格の2段階で評価。）

2 授業の履修要領

《博士課程・総合コース》

1 授業の履修要領

(1) 課程修了の要件について

本大学院に4年以上在学し、必要な単位30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた研究業績を上げた者は、3年以上在学すれば足りる。

(2) 指導教員

- ① 主として履修する科目（以下「主科目」という。）の指導教員は、博士論文の作成指導を行うほか、履修科目の指導、アドバイス、その他教育研究についての相談を行う。
- ② 副として履修する科目（以下「副科目」という。）の指導教員は、教育研究についての指導・アドバイスをを行う。

(3) 授業科目及び履修単位数について

- ① 専門領域
 - ア 主として履修する科目 10単位
 - イ 副として履修する科目 4単位以上
(連携副科目：副科目の1つとして主科目の属する群以外から必ず選択する)
 - ② 共通領域
 - ア 必修科目 4単位
 - イ 選択科目 4単位以上
 - ③ 研究指導
 - ・ 特別研究（学位論文指導） 8単位
- 計30単位以上

(4) 授業の内容について

- ① 主 科 目：学位論文作成の基盤となる知識、技術を習得することを目的とする。
- ② 副 科 目：主科目における研究遂行上、必要となる知識、技術を補完することを目的とする。
- ③ 共通領域：全ての学生に共通して必要となる基礎的、基盤的な知識を修得することを目的とする。
- ④ 特別研究：研究テーマを設定し、専門領域及び共通領域の授業科目で習得した知識、技術を応用し、学位論文作成のための研究を行うことを目的とする。

(5) 講義及び演習について

- ① 講 義：講義、抄読会、臨床報告会、学術集談会、学会等に出席した場合。
実 習：臨床検査、手術（見学を含む。）、診療、現地調査、剖検（見学を含む。）その他これらに類する行為を行った場合。
- ② 演 習：抄読会において抄読を担当したとき、臨床報告会において報告を担当したとき、及び学術集談会、学会等において研究発表をした場合。

(6) 履修科目の届出について

学生は、あらかじめ主科目担当教員の指導を受けて、学年始めに履修しようとする連携副科目などの授業科目を医学研究科長に届け出る。

(7) 単位修得の認定について

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告等により当該授業科目の主たる担当教員が行うものとする。

(8) 授業期間について

授業科目（共通領域のうち、大学院特別講義を除く。）の授業は、通年30週、半期15週にわたる期間を単位として行うものとする。

○ 授業の単位数、授業の方法等について

区 分		修得すべき 単 位 数	授業の方法、履修単位及び履修年次
専 門 領 域	主科目	10単位	<p>【授業の方法】講義（実習）等及び演習の併用</p> <p>講義A：3単位、1年次に履修（1年次3単位） 講義B：3単位、2年次に履修（1年次3単位） 演習：2単位、1～2年次で履修（1年次1単位） 特講：2単位、1～3年次のうち2年間で履修（1年次1単位）</p>
	副科目	4単位以上	<p>【授業の方法】演習の併用</p> <p>特講（2単位）または特論（2単位）を1～3年次のうち2年間で2科目以上、4単位以上履修（特講、特論共に1年次1単位）</p>
共 通 領 域	必修科目	4単位 (3科目)	<p>【授業の方法】講義もしくは実習</p> <p>統合医科学概論：1単位 医学生命倫理学概論1：1単位 医学生命倫理学概論2：1単位 医学研究方法概論：1単位</p> <p>1～3年次で履修</p>
	選択科目	4単位以上	<p>【授業の方法】講義もしくは実習</p> <p>加齢医科学：1単位 基礎統計学：1単位 応用言語学：1単位 医療レギュラトリー サイエンス学：1単位</p> <p>各々1単位、1・2・3・4年次のうち1年間で履修</p> <p>大学院特別講義：1～4単位、1～4年次で履修。特別講義を8コマ履修により1単位とする。</p>
研 究 指 導	特別研究	8単位	<p>【授業の方法】学位論文の指導</p> <p>統合医科学特別研究：1～4年次で毎年次履修（毎年次2単位）</p>
履修必要単位		30単位以上	

《博士課程・がんプロフェSSIONAL養成専門コース》

1 授業の履修要領

当コースは、「腫瘍専門医コース」、「集学放射線診断治療専門医コース」及び「包括的緩和医療専門医コース」の3コースより構成しているが、授業の履修要領は3コース共通とし、以下に示す。

(1) 課程修了の要件について

本大学院に4年以上在学し、必要な単位30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた研究業績を上げた者は、3年以上在学すれば足りる。

(2) 指導教員

- ① 専門科目の中から選択した専攻する科目(以下「専攻科目」という。)の指導教員は、博士論文の作成指導を行うほか、履修科目の指導、アドバイス、その他教育研究についての相談を行う。
- ② 基礎科目及び専門科目の指導教員は、教育研究についての指導・アドバイスを行う。

(3) 授業科目及び履修単位数について

- ① 基礎科目
 - ア 必修基礎科目 6単位
 - イ 選択基礎科目 4単位以上
 - ② 専門科目
 - ア 必修専門科目 6単位
 - イ 選択専門科目 6単位以上
 - ③ 研究指導
 - ・ 特別研究(学位論文指導) 8単位
- 計30単位以上

(4) 授業の内容について

- ① 基礎科目：腫瘍に関して基礎的な知識、技術を習得することを目的とする。
- ② 専門科目：各臓器、領域における腫瘍の治療、診断等に関して専門的な知識、技術を修得することを目的とする。
- ③ 特別研究：研究テーマを設定し、基礎科目及び専門科目の授業科目で習得した知識、技術を応用し、学位論文作成のための研究を行うことを目的とする。

(5) 講義及び演習について

- ① 講義：講義、抄読会、臨床報告会、学術集談会、学会等に出席した場合。
実習：臨床検査、手術(見学を含む。)、診療、現地調査、剖検(見学を含む。その他これらに類する行為を行った場合。
- ② 演習：抄読会において抄読を担当したとき、臨床報告会において報告を担当したとき、及び学術集談会、学会等において研究発表をした場合。

(6) 履修科目の届出について

学生は、あらかじめ専攻科目担当教員の指導を受けて、学年始めに履修しようとする基礎科目などの授業科目を医学研究科長に届け出る。

(7) 単位修得の認定について

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告等により当該授業科目の主たる担当教員が行うものとする。

(8) 授業期間について

授業科目の授業は、通年30週、半期15週にわたる期間を単位として行うものとする。

○ 授業の単位数、授業の方法等について

区 分		修得すべき 単 位 数	授業の方法、履修単位及び履修年次
基礎 科 目	必修科目	6 単 位 (3科目)	【授業の方法】講義もしくは実習 各科目2単位、1～2年次で履修
	選択科目	4 単位以上 (4科目)	【授業の方法】講義もしくは実習 各科目2単位、1～2年次で履修
専 門 科 目	必修科目	6 単 位 (3科目)	【授業の方法】講義もしくは実習 各科目2単位、1～2年次で履修
	選択科目	6 単位以上 (12科目)	【授業の方法】講義もしくは実習 各科目2単位、3～4年次で履修
研究 指導	特別研究	8 単 位	【授業の方法】学位論文の指導 統合医科学特別研究：毎年次2単位、 1～4年次で毎年次履修
履修必要単位		30 単位以上	

3 履修の考え方

1 総合コース

	主として履修する科目 (必修)			副として 履修する 科目	共通領域 (必修) ・ (選択)	研究指導 (必修)
	講義A 講義B	演習	特講	特講 ・ 特論		
4年					(必修) 3科目で 4単位 1～3年次 で履修 (選択) 4科目のうち 4単位以上 (各1単位) (科目により 履修方法が 相違)	研究指導 ・ 論文完成 8単位 1・2・ 3・4年次 各々2単位
3年						
2年	講義B 3単位	2年間で 履修	3年間の うち 2年間で 履修	3年間のうち 2年間で履修 2科目以上 4単位以上		
1年	講義A 3単位					
計	6単位	2単位	2単位	4単位以上	必修：4単位 選択：4単位以上	8単位
	10単位				8単位以上	
総計	30単位以上					

2 がんプロフェSSIONAL養成専門コース

	基礎科目		専門科目		研究指導 (必修)
	必修	選択	必修	選択	
4年				2年間で 履修 6単位 以上	研究指導 ・ 論文完成 8単位 1・2 3・4年次 各年次 2単位
3年					
2年	2年間で 履修 6単位	2年間で 履修 4単位 以上	2年間で 履修 6単位		
1年					
計	6単位	4単位 以上	6単位	6単位 以上	8単位
	10単位以上		12単位以上		
総計	30単位以上				

4 専攻、分野及び授業科目等一覧【 統合医科学専攻 】

1 総合コース

(1) 主として履修する科目及び副として履修する科目

分野	主として履修する科目	単位	副として履修する科目等	単位
地域医療・ 社会医学	分子標的癌予防医学	1 0	分子標的癌予防医学 (特講)	2
	地域保健医療疫学	1 0	地域保健医療疫学 (特講)	2
	地域保健医療福祉行政システム学	1 0	地域保健医療福祉行政システム学 (特講)	2
	法医学	1 0	法医学 (特講)	2
			遠隔医療システム学 [特論]	2
	救急・災害医療システム学	1 0	救急・災害医療システム学 (特講)	2
			補充代替医療学 [特論]	2
			医療心理学 [特論]	2
			地域環境医学 [特論]	2
	総合医療・医学教育学	1 0	総合医療・医学教育学 (特講)	2
	地域医療学	1 0	地域医療学 (特講)	2
	医療フロンティア展開学	1 0	医療フロンティア展開学 (特講)	2
	生物統計学	1 0	生物統計学 (特講)	2
	医学生命倫理学	1 0	医学生命倫理学 (特講)	2
生命基礎数理学	1 0	生命基礎数理学 (特講)	2	
		腫瘍分子標的治療学 [特論]	2	
発達・成育 医科学	小児科学	1 0	小児科学 (特講)	2
	小児外科学	1 0	小児外科学 (特講)	2
	女性生涯医科学	1 0	女性生涯医科学 (特講)	2
	医療コミュニケーション学	1 0	医療コミュニケーション学 (特講)	2
先端医療・ ゲノム医学	ゲノム医科学	1 0	ゲノム医科学 (特講)	2
	分子生化学	1 0	分子生化学 (特講)	2
	分子病態検査医学	1 0	分子病態検査医学 (特講)	2
	分子診断・治療医学	1 0	分子診断・治療医学 (特講)	2
	免疫内科学	1 0	免疫内科学 (特講)	2
	内分泌・代謝内科学	1 0	内分泌・代謝内科学 (特講)	2
	循環器内科学	1 0	循環器内科学 (特講)	2
	腎臓内科学	1 0	腎臓内科学 (特講)	2
	呼吸器内科学	1 0	呼吸器内科学 (特講)	2
	消化器内科学	1 0	消化器内科学 (特講)	2
	血液内科学	1 0	血液内科学 (特講)	2
	神経内科学	1 0	神経内科学 (特講)	2
	皮膚科学	1 0	皮膚科学 (特講)	2
	形成外科学	1 0	形成外科学 (特講)	2
生体情報・ 機能形態学	生体構造科学	1 0	生体構造科学 (特講)	2
	生体機能形態科学	1 0	生体機能形態科学 (特講)	2
	細胞生理学	1 0	細胞生理学 (特講)	2
	統合生理学	1 0	統合生理学 (特講)	2
	物質生命基礎科学	1 0	物質生命基礎科学 (特講)	2
	神経発生生物学	1 0	神経発生生物学 (特講)	2
	基礎老化学	1 0	基礎老化学 (特講)	2
病態解析・ 制御医学	人体病理学	1 0	人体病理学 (特講)	2
	細胞分子機能病理学	1 0	細胞分子機能病理学 (特講)	2
	分子病態病理学	1 0	分子病態病理学 (特講)	2
	感染病態学	1 0	感染病態学 (特講)	2
	免疫学	1 0	免疫学 (特講)	2
	病態分子薬理学	1 0	病態分子薬理学 (特講)	2
	精神機能病態学	1 0	精神機能病態学 (特講)	2
	放射線診断治療学	1 0	放射線診断治療学 (特講)	2
	医薬品化学	1 0	医薬品化学 (特講)	2
		集学放射線治療学 [特論]	2	
機能制御・ 再生医学	消化器外科学	1 0	消化器外科学 (特講)	2
	移植・再生外科学	1 0	移植・再生外科学 (特講)	2
	内分泌・乳腺外科学	1 0	内分泌・乳腺外科学 (特講)	2
	心臓血管外科学	1 0	心臓血管外科学 (特講)	2
	呼吸器外科学	1 0	呼吸器外科学 (特講)	2
	脳神経機能再生外科学	1 0	脳神経機能再生外科学 (特講)	2
	運動器機能再生外科学	1 0	運動器機能再生外科学 (特講)	2
			小児整形外科学 [特論]	2
	リハビリテーション医学	1 0	リハビリテーション医学 (特講)	2
			スポーツ・障がい者スポーツ医学 [特論]	2
	視覚機能再生外科学	1 0	視覚機能再生外科学 (特講)	2
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1 0	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 (特講)	2
	泌尿器外科学	1 0	泌尿器外科学 (特講)	2
	麻酔科学	1 0	麻酔科学 (特講)	2
	疼痛・緩和医療学	1 0	疼痛・緩和医療学 (特講)	2
			包括的緩和医療学 [特論]	2
	歯科口腔科学	1 0	歯科口腔科学 (特講)	2
細胞再生医学	1 0	細胞再生医学 (特講)	2	

(注) 主として履修する科目：講義A (3単位)、講義B (3単位)、演習 (2単位)、特講 (2単位)
副として履修する科目：特講 (2単位) 及び特論 (2単位)

(2) 共通領域及び研究指導

領域等		科目等	単位
共通領域	必修	統合医科学概論 医学生命倫理学概論1 医学生命倫理学概論2 医学研究方法概論	1 1 1 1
	選択	加齢医科学 基礎統計学 応用言語学 医療レギュラトリーサイエンス学 大学院特別講義	1 1 1 1 1 1～4
研究指導	必修	統合医科学特別研究	8

2 がんプロフェッショナル養成専門コース

科目区分		授業科目	単位
基礎科目	必修	分子標的癌予防医学 人体病理学 病態分子薬理学	2 2 2
	選択	ゲノム医科学 分子生化学 分子病態検査医学 免疫内科学	2 2 2 2
専門科目	必修	血液内科学 集学放射線診断治療学 包括的緩和医療学	2 2 2
	選択	小児科学 女性生涯医科学 呼吸器内科学 皮膚科学 消化器内科学 消化器外科学 内分泌・乳腺外科学 呼吸器外科学 脳神経機能再生外科学 運動器機能再生外科学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 泌尿器外科学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
研究指導	必修	統合医科学特別研究	8